

## 思いをつないだ文化祭（ステージ発表編）（令和2年10月19日（月））

宮城県・柴田町立船岡中学校 校長



### ステージに掲げた文化祭テーマ

先週16日（金）に、「Share～つなげる思い～」というテーマのもと、文化祭を開催しました。新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、入場制限やマスクの着用、検温等のご協力をいただきましたことに、あらためて感謝申し上げます。

準備時間やコロナ対応など、いろいろな制約がある中での開催となりましたが、それでも自分たちの手で文化祭を作り上げ、自分たちで盛り上げるのだ、という気持ち伝わってきた文化祭でした。みんなの思いが生徒一人一人にストレートに伝わってきました。

### ○ 全校制作「モザイクアート」

生徒一人一人が決められた用紙のマス目に指定の色紙を貼り、それをつないで完成させたものです。今年度は部活動での集合写真や学年集会での写真などに基づいて作製しました。保護者の皆様には、合唱コンクール等で来校された折に、ぜひご覧いただきたいと思います。

### ○ 各学年の出し物

各学年の「出し物課」の皆さんが中心となり、それぞれ工夫をこらして発表しました。1年生は「蔵王での自然体験学習」、2年生は「『よさこい踊り』と『太鼓』」、3年生は「修学旅行」についての発表でした。どの発表も堂々として素晴らしいものでした。

### ◆◆◆◆【読書案内】◆◆◆◆ 萩原慎一郎「歌集 滑走路」(2017年,156ページ)

先日、ある新聞のコラム欄で取り上げられていた本です。異例のロングセラーを続けている歌集との紹介でした。早速、町の図書館からお借りして読みました。三十一文字が胸にすーっと入ってきて、勇気とやるぞという気力をもらいました。何首か紹介します。

「いろいろと書いてあるのだ 看護師のあなたの腕はメモ帳なのだ」 「占いの結果以上にぼくたちが信じるべきは自分自身だ」

「こころのなかにある跳び箱を少年の日のように助走して越えてゆけ」 「今日という日を懸命に生きてゆく蟻であっても僕であっても」 「きみのため用意されたる滑走路きみは翼を手にはすればいい」



全校制作「モザイクアート」



吹奏楽部の発表



（1年）蔵王での自然体験学習の様子を、スライドにクイズを交えて発表。蔵王に伝わる「うなぎと蟹のたたかい」の伝説を劇にして披露した場面もありました。



（2年）「踊り」と「太鼓」を披露。柴田町文化協会様や町生涯学習課様など多くの方々からご指導をいただきました。ありがとうございました。



（3年）北東北方面への修学旅行の様子を、スライドに感想を交えて発表。途中、田沢湖の「辰子姫」が登場するなどアイデア満載の発表でした。



（クロージングセレモニー）みんなの思いをつないで見事に締めてくれました。「You can do it!」のメッセージをこれからも引き継いでください。